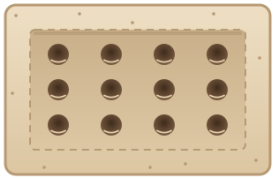
歴史を調べる資料の種類と読み方

昔のことは、どんな資料からわかるのだろう。読むときに何に気をつけるのだろう

1 遺跡と出土した物



柱のあと



土器のかけら

わかること

人が住んでいた場所や、
使っていた道具

気をつけること

一部しか残っていない。
くさる物は残りにくい

→ 資料からわかること

⚠ 読むときに気をつけること

2 残っている建物



（架空の建物）

わかること

建物のつくりや、
そのころの技術

気をつけること

後の時代に直したり、
建て直したりしている

3 書かれたもの



文書・日記（架空）

わかること

出来事の年や、
書いた人の見方

気をつけること

だれが、何のために
書いたかで書き方が変わる

昔のくらしや出来事

いつ・どこで・だれが
どのように

1つの資料だけで決めてよいかな

4 絵



昔の様子の絵（架空）

わかること

人々の服装や、
くらしの様子

気をつけること

かいた人の想像や、
大げさな所があることも

いくつかの資料を組み合わせて確かめる

1. **問いを立てる**
   例：どんな家に住んでいたか
2. **種類のちがう資料で調べる**
   博物館・資料館や図書館で
3. **資料どうしをくらべる**
   同じか、くいちがいはないか
4. **年表や地図にまとめる**
   いつ・どこでを整理して考える

※ 資料の絵はすべて架空の例で、実在の遺跡・建物・文書・絵をもとにしていない。